

4. 糖尿病になるとどんな症状が出てくるのでしょうか？

糖尿病にかかったときの症状をとりあげてみます。

- ① 体調は良く、健康と感じられる。
- ② 全身がだるい感じがする。
- ③ 疲れやすい。
- ④ 食欲があり、多めに食べているがやせてきた。
- ⑤ 甘いものが食べたい。
- ⑥ とても喉がかわく。
- ⑦ 水を多く飲むようになってきた。
- ⑧ おしっこに行く回数が増えてきた。
- ⑨ 尿のにおいが気になる。
- ⑩ 身体が痒い。
- ⑪ 傷口が化膿しやすい。
- ⑫ 歯の具合が悪く、虫歯や歯周炎が出来てきた。
- ⑬ 手足がしびれたり、ピリピリする感じがある。
- ⑭ 足に出来た傷や火傷の痛みを感じない。
- ⑮ おしっこが出にくく、時には漏らすことがある。
- ⑯ 立ちくらみが時々ある。
- ⑰ 目がかすみ、視力が落ちてきた。
- ⑱ 足がむくみ、重く感じる。

血糖値が少し高めでも、体調は良く、健康であると感じられることが多いのです。隠れ糖尿病とか、糖尿病予備軍と云われることもあります。血糖値が高めの状態が続くと、食欲があつてよく食べているのに疲れやすく、全身のだるい感じがしてくるようになります。

食欲があつて、多めに食べているのに体重が減ってくる場合があります。太っていたので、体重の減量が出来て喜ばしいように見えるのですが、実は糖尿病は悪化した証拠なのです。運動量が少なくなり、食事量も増加してくると太ってきます。そうすると血糖値が上がり易くなってきます。同じような生活を続けていて、体重が減ってくるようだと、糖尿病が発病した可能性がありますので、すぐ血糖検査を受ける必要があります。

甘いものが食べたくなり、食べる量が少ないと満足出来なくなることもあります。食後の血糖値上昇に伴って過剰にインスリンが分泌されて、食後しばらくして血糖値が下がり、気分が悪くなる場合があります。その時に甘いものを食べると気分が良くなります。ますます甘いものが食べたくなくなっていきます。

喉が渇いた感じがよくするようになります。そのため水を飲む量も増えてきます。血液中にブドウ糖が増加して、血液が濃くなって来たためと考えられます。

排尿回数が増えてきます。一回の尿量も多くなってきます。尿の臭いが気になるようになる場合があります。これは尿のなかにブドウ糖が出てくるためです。健康な人では、普

通は尿の中にブドウ糖は出て来ません。

皮膚に痒みを感じる場合があります。皮膚は乾燥してカサカサした感じになることがあります。糖尿病では免疫力が低下して来ます。そのため皮膚におできが出来やすくなります。歯では虫歯が増え、歯周炎にかかりやすくなります。風邪にかかると肺炎などに病気が進行しやすくなります。

神経障害が糖尿病に合併してきますと、手足がしびれたり、ピリピリする異常な感じが起るようになります。さらに糖尿病が進行して来ますと、神経の感覚が鈍くなり、ちょっとした傷や火傷の痛みを感じなくなります。足に傷が出来たことが分からないで、そのままにしておくとそこから細菌感染をおこし、壊疽になることもあるので、いつも清潔にしておくように注意が必要です。膀胱などに分布している神経も糖尿病で障害されますと、排尿の調節が上手く出来なくなり、尿を漏らすこともあります。

糖尿病では、白内障を起し易く、目がかすんできたりします。眼底では出血をひき起こして視力が低下することがあります。

糖尿病が進行すると腎臓が悪くなり、むくみを起すようになることがあります。